

今日の説教のポイント<マタイによる福音書 28 章 1~10 節>

①「恐れることはない」。これがこの箇所のテーマ！

思いもよらない出来事に出会い、番兵も婦人たちも恐れます(4, 8)。しかし、婦人たちには、天使や復活されたイエス様が「恐れることはない」と語りかけて下さり(5, 10)、それを受け入れて婦人たちは為すべきことを為していきました。これがこの箇所から私たちが聞き取るべきテーマですが、私たちが彼女たちと同じようにできるためには、さらに二つのことを聞き取らなければならないし、また聞き取れると思います。

②十字架につけられただけでなく、復活されたお方！

一つは、天使が彼女たちに語りかけた言葉からです。天使ははっきりと、イエス様は復活されたのだ、と告げました。その際に、「(あなたがたは) 十字架につけられたイエスを捜しているのだろうが」と語っています。私たちは、死んだイエス様でなく、神様が復活させられたイエス様を思わなければならないのです！ それも、ただ死んだのに神様が生かさせられたというだけでなく、私たちを代表する人々が寄ってたかって殺してしまった(私たちの罪のせいで死なれた)イエス様を父なる神様が復活させられた(すなわち、私たちの罪が赦された、帳消しにして下さった!)ということをおぼえなければならないのです！

③ガリラヤに行く意味は？ 新たな人生の始まり！

もう一つは、復活された主が婦人たちに語りかけられた言葉からです。主は天使が告げた言葉をもう一度告げ直しておられます。それは、「ガリラヤに行って、私と会うように伝えなさい」ということです。ガリラヤ、それは、「異邦人のガリラヤ、暗闇に住む民は大きな光を見」(4:15-16)であり、イエス様が初めて伝道し始めた所です。弟子たちはそこに行き、主から託された福音の伝道に出て行く者となった時から、復活の主はいつもそばにいて下さる方と確信できるようになったのです。私たちも同じです。この主を信じて、主から使命が託されていることを思って生きて行く時に、私たちの人生も再生し出すのです！